



泉自然公園

第3回 定例会のあらまし

平成5年第3回定例会が、9月3日から9月30日までの28日間の日程で開かれました。

この定例会では、一般会計補正予算および条例改正など17件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。

また、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、平成4年度一般会計および特別会計など19件の決算議案について審査を行い、すべて原案どおり認定しました。

さらに、意見書4件、請願1件、陳情5件を審議したほか、各会派の代表質問が7人の議員により行われました。

可決した主な議案

◆◆◆「予算関係」◆◆◆

■一般会計補正予算

道路・街路および河川の整備費、小学校へのコンピュータ設置に伴う経費、全国都市緑化ちばフェアのテーマ館(仮称・花の美術館)を稲毛海浜公園内に設置するための建設費など、合わせて七十八億四千三百八万円を追加しました。これにより一般会計の予算総額は、二千九百八十二億七千五百四十三万円になりました。 **賛成全員**

■特別会計補正予算(企業会計を含む)

老人保健医療事業特別会計など四事業会計に、合わせて十一億八千四百八十七万円を追加しました。これにより特別会計(十八会計)の予算総額は、一千八百二十七億三千七十二万円になりました。 **賛成全員**

◆◆◆「条例関係」◆◆◆

■千葉市防災会議条例の一部改正

防災体制を強化するために、防災会議委員の定数を増やすなどの改正をします。 **賛成全員**

■千葉市公民館設置管理条例の一部改正

花園公民館を、花見川区花園三丁目へ移転改築したため、条例の一部を改正します。 **賛成全員**

稲毛海浜公園に全国都市緑化ちばフェアのテーマ館も建設

■千葉市幕張新都心豊砂地区再開発地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の全部改正

幕張新都心の中心地区および住宅地区の地区計画区域を新たに加え、建築物の敷地・構造および用途に関する制限を定めるものです。 **賛成多数**

◆◆◆「土地の処分」◆◆◆

美浜区高洲三丁目の市有地を、住宅・都市整備公団に百億三百一十万円余で売却します。 **賛成多数**

◆◆◆「工事請負契約」◆◆◆

■蘇我最終処分場廃棄物減容化工事
蘇我最終処分場の整備を、十一億二千二百七十万円で行います。 **賛成全員**

■仮称矢作トンネル建設工事(その二)

中央区矢作町および亥鼻一丁目地内のトンネル工事を、十億二千七百四十二万円余で行います。 **賛成全員**

◆◆◆「人事案件」◆◆◆

助役に、齊藤市衛氏を選任することに同意しました。 **賛成多数**

質問から

代表

9月13日(市民自由クラブ・市政会)、14日(千葉市議会公明党・新政クラブ・日本共産党千葉市議会議員団)、16日(日本社会党千葉市議会議員団・市民ネットワーク)の3日間にわたり、7会派の代表から市政運営などについて質問が行われました。



市政会

今後の財政運営の手法は、細川新政権において、国内景気の見方は、厳しい認識を表明しているが、ますます財政需要の高まる本市として、財源の確保に努める必要は、どのようにあるべきか。

現在の経済状況下において、歳入面では、あらゆる財源を積極的に確保する一方、歳出面では、事務事業の見直しや経費の削減に努め、中・長期的展望に立つて施策の厳しい選択を行うこと、歳出の合理化・効率化を図ることが肝要であり、従来に増して創意・工夫に努め、限られた財源の重点かつ有効な活用を努めたい。

市内モノレール既設駅舎へのエスカレーター設置状況と見通しは、現在、駅舎の改修工事や高層ビル建設などを踏まえたエレベーターの設置について伺う。



市立病院

市民自由クラブ 高齢者人口比率の上昇により、年金、医療などを中心とし、毎年度多額の当然増徴の圧力を抱え、国民・市民に負担の増大をもたらすことが考えられる。このような高齢化社会の到来を踏まえた、財政の健全性と後年度負担について伺う。

国際的な環境問題への取り組み姿勢は、地球規模の環境問題はこれからの課題であり、日本国民が国際貢献を期待されていること、また、先国会で審議された環境基本法に新たな項目として盛り込まれる予定であったことなど、新たな対応が必要であり、国の施策だけで解決できるものではなく、国と地方自治体との連携や国民一人ひとりの理解と協力が必要であると思われる。そこで、地球規模の環境問題にどのように対応するのか。

両市立病院の再整備は、両市立病院の再整備に関する提言において、市立病院は老人慢性疾患

サッカークラブの来、都市の発展に伴って、スポーツを取り巻く環境が大きく変化しているため、新たな市民ニーズを的確にとらえ、より広域的な視点に立ち、施設整備を含めて、二十一世紀のスポーツ振興の指針となる構想を策定することとしているので、その中で専用サッカー場について検討していきたい。

業者テスト廃止の見直しは、今日、多くの中学校が業者テストに依存して高等学校への進路指導をしている。本来進路指導は、「生き方の問題を先立方の指導のもと十分考えることが大切であり、本市も業者テストを廃止すべきである」という考えが、具体的な対応や今後の見直しについて伺う。

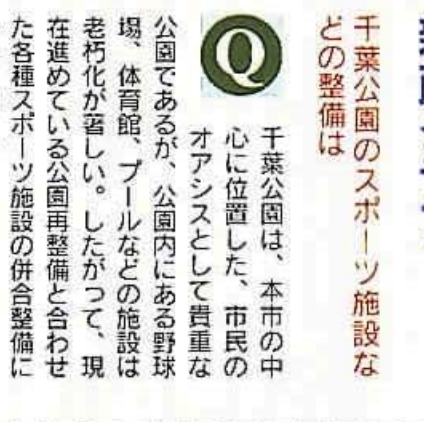
ヤミ献金については、新聞報道にあたり、具体的な形態については、承認していない。不祥事件を起こしたセネコン企業に対しては指名停止措置を講じ、状況に応じて措置期間の延長などを行っている。公営型指名競争入札制度の成果については、受注欲のある業者を選定することができ、入札の競争性がより高まったと考えている。

敬老乗車券について、敬老乗車券と敬老祝金は、両方を支給できないか。また、新たに七十歳になる人には敬老乗車券が支給されないのはなぜか。さらに、バスだけではなくモノレール、JRなども利用できる制度にはできないか。

景気対策・不況対策は、景気の低迷下、市の融資額も引き上げられているが、この運用状況は、申込数と実行数とはかなりの開きがあり、融資額の更なる増額と資格審査の緩和を求めたいが、来年度の見直しをきめきめ方々を伺う。

市民ネットワーク 先端技術産業事業者との公害防止協定に住民を加えては、千葉県土地開発公社の保全について意見を求めた。市としては、提出された環境保全対策書に基づき関連法令、条例に照

千葉公園のスポーツ施設などの整備は、千葉公園は、本市の中心に位置し、市民のオアシスとして貴重な公園であるが、公園内にある野球場、体育館、プールなどの施設は老朽化が著しい。したがって、現在進めている公園再整備と合わせた各種スポーツ施設の併設整備について伺う。



新政クラブ

現在、第五次5か年計画事業のなかで計画的に整備を進めているが、千葉公園は、都心では少なくなった貴重な緑であり、今後とも都心の緑のオアシスとしての性格を強く保つ必要があると考える。各種スポーツ施設の併設整備については、都市環境線との調性を考慮し、今後の全体的なスポーツ施設の配置計画とも調整を



公害事業の発注に際して政治家にヤミ献金が渡っていないことを承知しているか。また、不祥事件を起こしたセネコン企業に対し指名停止措置を行っているが、それと十分か。さらに、公営型指名競争入札制度の成果はどうか。

日本共産党千葉市議会議員団 セネコン疑惑と入札制度について、公害事業の発注に際して政治家にヤミ献金が渡っていないことを承知しているか。また、不祥事件を起こしたセネコン企業に対し指名停止措置を行っているが、それと十分か。さらに、公営型指名競争入札制度の成果はどうか。

土気緑の森工業団地内のパイオ研究所については、業務内容の安全性が確保されない限り、操業は無理ではないか。また、市は住民参加を進めるべきではないか。

千葉県土地開発公社の保全について意見を求めた。市としては、提出された環境保全対策書に基づき関連法令、条例に照

患者者に十分対応できる新たな機能をもち地域中核病院への連携、海浜病院は高度先進医療を特色とする地域中核病院として一層の充実を図るための増床が必要と報告されているが、両市立病院の再整備をどのように進めるか。
本市が将来を展望した病院長選出を進める一方で、大変貴重な提言であり、本提言を踏まえ、積極的に両市立病院の整備・充実を進めたい。今後、引続き、両市立病院再整備計画検討委員会において、病院規模、診療機能など、さらなる詳細について審議してもらい、検討を進めたい。本年度は、「両市立病院再整備基本調査を行い、基本計画策定に向けての基礎資料」として活用していきたい。

千葉市議会公明党 モノレール駅へのエスカレーターおよびエレベーターの設置は、都市モノレール既設駅舎へのエスカレーター設置状況と見通しは、現在、駅舎の改修工事や高層ビル建設などを踏まえたエレベーターの設置について伺う。

千葉市議会公明党 モノレール駅へのエスカレーターおよびエレベーターの設置は、都市モノレール既設駅舎へのエスカレーター設置状況と見通しは、現在、駅舎の改修工事や高層ビル建設などを踏まえたエレベーターの設置について伺う。

専用市立サッカー場の建設は、今やサッカーは、日本をもっとよき世界の若者は夢中にして、サッカー一でのまちおこしを感動に行っている自治体もある。それぞれの政

市長報告(要旨)

九月三日の本会議では、松井旭市長から定例会に上程した三十二議案の概要説明ののち、市政に関して当面する課題などについて十項目の報告がありました。
◆台風十一号による被害と本市の防災体制について
台風十一号は、床上床下浸水、産廃物など、本市に多くの被害をもたらしましたが、今後、水害の未然防止に積極的に取り組んでまいります。また、過去の災害の教訓を踏まえ、地域防災計画や水防計画を強化し、市民の安全を確保するために努力してまいります。
◆冷害対策について
六月以降の長雨、低温や日照不足などの天候不良により、農作物の成育に影響が出ていますが、被害農家の救済と消費生活の安定に万全を期してまいります。
◆急激な円高状況への対応および不況対策について
国内内外の景気の低迷、円高の急激な進展などにより、中小企業を取り巻く環境が一段と厳しくなっています。緊急景況対策基金や緊急円高対策基金の活用、経営指導の強化など中小企業に対して適切な支援策を講じてまいります。
◆内外の情勢について
細川連立政権の誕生など内外の政治経済情勢が大きく動いていますが、地方自治体が、自ら考え、変化に対応する地方自治の確立と時代をリードする役割と責任が一層増しており、権限の移譲など地方自治の一層の推進を図られることを期待しております。
◆平成六年度国の予算編成に対する重点要望について
市政運営上、特に重要な十九項目について、関係省庁などに要望活動を行いました。今後も、本市要望に係る予算が確保できるよう努力してまいります。
◆清掃行政について
ゴミの五分削減が実施され、一年経過しますが、市民皆様の理解と協力をいただき、円滑に行われ、かなりの減量効果がみられます。(協力) 三浦町清掃工場が竣工し、工場跡の新たな事業に着手しましたが、良好な生活環境を保持するため、完成が急がれますので、円滑な工事の進捗が図れるよう万全を期してまいります。
◆千葉市イメージソングの制作について
政令指定都市移行を記念して、「イメージソング」心の飛行船を制作しましたので、広く市民の皆様に見られるよう努めてまいります。
◆世界精神保健連盟一九九三年世界会議の開催について
八月二十三日から二十七日まで、幕張メッセを会場として開催され、我が国をはじめ世界六十二か国の精神保健に携わる専門家や患者、家族などが参加し、シンポジウム、研究成果の発表や意見交換が行われました。本市での開催は、市民皆様の精神保健に対する理解を深めたことと、大変有意義でした。
◆第六回全国スポーツレクリエーション祭開催について
十一月十三日から十六日まで、県内十五市町を会場に開催されますが、本市では、年別別パトミンソン、壮年ボウリングやマスゲーム陸上競技が行われます。この祭典が市民皆様のスポーツ、レクリエーション活動に関心を持っていただく絶好の機会であり、今後も生涯スポーツの振興に一層努めてまいります。
◆第十二回全国都市緑化千葉フェアについて
平成七年度に、財団法人都市緑化基金、千葉県と本市との共催により、稲毛海浜公園と幕張海浜公園を主会場に開催予定となりますので、市民の方々に広くフェアに参加していただけますよう、開催に向けて準備を進めてまいります。

会派別議員数(定数56人・現員数56人)
■市民自由クラブ.....13人
■市政会.....9人
■新政クラブ.....8人
■千葉市議会公明党.....8人
■日本共産党千葉市議会議員団.....7人
■日本社会党千葉市議会議員団.....3人
■市民ネットワーク.....2人
■無所属.....1人

可決した意見書(要旨)

9月17日に、議員提出議案として4件の意見書を上程し、次の2件を可決しました。可決した意見書は、国などの関係省庁に提出します。
((医療内容を向上させるための診療報酬引き上げ及び医療機関に対する感染症等対策補助金の支給に関する意見書))
国民が安心して良い医療が受けられるよう、医療従事者の増員と待遇改善を図り、医療内容を向上させるために診療報酬を緊急に引き上げること。また、医療機関が拠出しているMRSA・エイズなどの感染症対策や感染性医療廃棄物の処理に関する費用について、補助金を支給するよう要望する。賛成全員
((「地方分権推進基本法」の制定を求める意見書))
国と地方公共団体の役割を抜本的に見直し、外交・防衛などの国固有の事務や社会保障給付など全国統一の基準に基づく行政を必要とするものを除き、権限や財源を地方に移譲するための手順・手続きなどを定めるとともに、その実現目標年度を明記した「地方分権推進基本法」を制定するよう要望する。賛成多数

委員会審査から

常任委員会

各委員会が九月九日に開かれ、付託された十三議案について審査しました。

そのほか、請願一件、陳情五件を審査し、採択送付一件、不採択一件、継続審査四件となりました。

総務委員会

(所管)総務局、企画調整局、財政局など

土地の処分など、付託議案二件を審査し、処分先の選定理由や売却価格などについて質問がありました。

民生教育委員会

(所管)市民生活局、教育委員会
一般会計補正予算、千葉市防災会議案例の一部改正など、付託議案四件、陳情四件を審査し、コンピュータ利用教育推進事業費の中の機種選定理由などについて質問がありました。

老人保健福祉計画に関する陳情

千葉市立北部図書館改築についての陳情

環境消防委員会

(所管)環境衛生局、清掃局、消防局、水道局

蘇我最終処分場廃棄物減容化

工事請負契約など、付託

議案二件、請願一件、陳情一件を

審査し、処

分場の跡

地利用



などについて質問がありました。

経済建設委員会

(所管)経済農政局、建設局など
千葉市幕張新都心豊砂地区再開発地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の全部改正など、付託議案四件を審査し、地区計画の定義と手続きなどについて質問がありました。

都市下水道委員会

(所管)都市局、下水道局
仮称矢作トンネル建設工事(その二)請負契約など、付託議案四件を審査し、トンネル供用開始後の環境問題などについて質問がありました。

特別委員会

廃棄物処理問題対策特別委員会

八月二十六日に開かれ、今後、調査研究すべき事項について協議しました。

大都市税財政制度調査特別委員会

九月二日に開かれ、国に対する大都市財政の実態に即応する財源の拡充について、政令指定都市共通の要望などを協議しました。

決算審査特別委員会

平成四年度一般会計及び特別会計決算議案を審査するため、九月八日に、全議員で構成する決算審査特別委員会(二分会)を設置し、九日間にわたり審査しました。また、決算議案や市政に関する総括質問が十二人の議員により行われました。

委員長

高橋 薫

副委員長 田中 香人

第一分会会長 穴倉 登

同 副会長 前沢 勝之

第二分会会長 向後 一夫

同 副会長 米持 克彦

なお、九月二十日の本会議で、市長に対する十項目の指摘要望を

含めた審査結果と概要について、決算審査特別委員会委員長報告が行われ、採決の結果、各会計決算を認定しました。

指摘要望事項

- 市税の徴収については、積極的な納税PRや口座振替の推進などに努めることはもとより、徴収体制の拡充強化を図り、収納率の向上を期せたい。
- 区役所については、区民の身近な要望に迅速に対応するため、各区役所の権限を拡大されたい。
- 防犯街灯については、電気料金を全額市費負担とするなど、市として一括して管理することについて検討されたい。
- 大気・水質・地下水などにおける汚染については、健康への影響も懸念されるので、種々の有効な方策を講じ、汚染環境の改善に努められたい。
- 看護婦不足対策については、就労環境の整備を推進するとともに、高齢化社会に対応した看護婦の確保を図るため、看護学校の早期設立を検討されたい。
- 街路事業については、補助金の確保に努めるとともに、多額の予算を投入し、早期完成を期されたい。
- 河川改修については、台風などの降雨による水害を防止するため、全庁一丸となつて、より積極的に推進されたい。
- 市営住宅については、創意工夫を凝らし、より一層の建設戸数の増加と適正配置に努められたい。
- また、空家の質的充実などを図り、その解消に努力されたい。
- 下水道事業については、面整備をより一層推進し、普及率の向上に努めるとともに、処理区域内における未水洗化家庭の早期解消を図られたい。
- 小中学校の余裕教室については、学校活動としての利用に限定することなく、地域活動への開放や高齢者などに対する福祉施策などでの活用についても積極的に検討されたい。

総括質問

主な質問項目

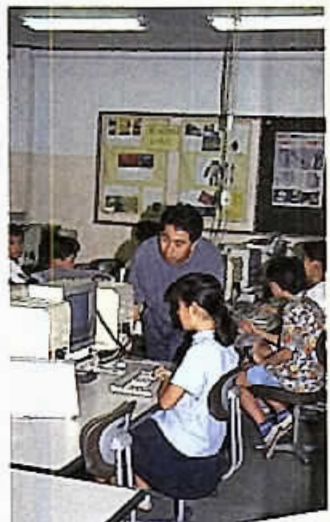
- 誰もが住みよい街づくりについて
- 安全な街づくりについて
- 平和行政について
- CIについて
- 日米建設摩擦とゼネコン汚職事件の二つの視点から契約制度のあり方について
- 千葉市の発展状況に見合う地区計画の見直しについて
- 川鉄の合理化計画、人員削減と千葉市政について
- 高齢者福祉対策について
- 生涯学習について
- 放物自動車防止対策と駐車場対策について
- 地域間バランスのとれた都市基盤整備について
- モノレール開通に伴う京成バスの路線変更について

お知らせコーナー

本会議は、原則として公開していただきます。どなたでも傍聴することができます。

傍聴される方は、本会議の当日、議事堂棟一階の受付で、手続きをお願いします。

平成五年第四回定例会は十一月二十九日から開会する予定です。



編集後記

八月五日、今年の異常な天候を象徴するような曇り空のもと、第三十九回千葉市議会議員野球大会の決勝戦が、市原市の臨海野球場で行われました。

千葉市議会チーム(部員二十三)は、地区予選を経て準決勝と並み居る強豪チームを打ち破り、決勝戦で県内最強チームの茂原市議会と対戦しました。

試合は、さすが野球王国・千葉と噂されるハッスルプレーが両チームに繰出し、好プレーあり、珍プレーもありの大接戦の結果、我がチームは善戦空しく惜敗しました。

来シーズンを優勝を一議員チームも頑張ります。我が心るさと球団・千葉ロッテマリーンズも、どうか平均年齢五十一歳の議員チームの励みとなるよう、来季優勝を目指し頑張ってください。

末尾ながら、お陰様で創刊号について、たくさんの方の励ましの言葉を頂戴いたしました。心からお礼申し上げます。

「ちば市議会だより」発行委員会
連絡先 議会事務局調査課
☎ 二四五・五四七二



～市議会のしくみ②～ 議員定数

市議会議員の定数は、地方自治法で都市の人口規模(基礎となる人口は、国勢調査またはこれに準ずる全国的な人口調査)に応じて定められています。

千葉市は、法律上の定数は60人になりますが、昭和57年に条例で56人に定め、昭和58年4月の選挙から実施しています。

このように条例で法律の議員定数を減少させている例は多く、政令指定都市の中でも横浜市や大阪市など7市あります。

また、千葉市は、平成4年4月より政令指定都市に移行しましたので、平成7年に予定されている統一地方選挙では、56人を市内それぞれの選挙区から選出することになります。各区選出の議員数は、次のとおりです。

- 中央区……………11人
- 若葉区……………10人
- 花見川区……………12人
- 緑区……………4人
- 稲毛区……………10人
- 美浜区……………9人

千葉市の 四・季・の・花 秋・コスモス



次号「ちば市議会だより」No.3では、第四回定例会の様子をお知らせいたします。

皆様の「ご意見・ご感想」をお待ちしています。